

マナーについて

エスカレーターは立ち止まって利用

エスカレーターは、ステップの高さが階段より高いことや2人乗りエスカレーターの幅は2人が立って利用できるギリギリの幅となっており、歩く構造で作られていません。

エスカレーターを歩くことによる事故が、札幌市営地下鉄の駅で年間20～30件程度発生しております。

お客様同士の接触事故や振動による緊急停止で転倒する事故などが発生し、自分だけではなく重大な加害事故に繋がる恐れがあります。

エスカレーターをご利用されるお客様の中には、怪我など様々な理由により右手でしか手すりを掴めない方もおり、また、高齢者の転倒事故が増えている現状からも、皆様に安全に利用していただくため、エスカレーターは歩かずに、黄色い線の内側で手すりにつかまり、左右ともに立ち止まってご利用ください。

ながら歩き禁止

スマートフォンや携帯電話を見ながらの「ながら歩き」は、周囲への注意力が散漫になり、ホームからの転落や階段、エスカレーターでの転倒、また、他の人との接触事故など、自分だけではなく重大な加害事故に繋がる恐れがあるほか、駅構内の混雑にもつながりますのでおやめください。

車内での荷物（リュック）は手に持って

リュックや鞆などを背負ったまま乗車すると、振り向いたときに人にぶつかったり、通路が塞がり通行の支障になることで乗降に時間が掛かり、列車遅延の原因となります。

荷物を持つ際は、前に抱えたり、足もとに置くなど、他の人に迷惑が掛からないよう持ちましょう。

乗降がスムーズに行なえるよう、乗降口付近に立ち止まらない

ドア付近に立って動かないと、乗降の際の妨げとなり、列車遅延の原因となります。乗車されましたらドア付近に立ち止まらず、車内中ほどまでお進みください。

また、混雑時など入口付近から動けない場合は、一度降りて、お客様の降車が終了後、再度乗車するなどの配慮をしましょう。

多くのお客様が座れるよう、座席を詰める

荷物を座席に置いたり、間を空けて座ったり、詰めて座るとまだ座れる状況が多く見ら

れます。一人でも多く座れるよう、座席は詰めて座りましょう。

また、足を投げ出したり組んで座ると、隣に座っている人の着用品等が汚れたり、通路が狭くなりますので、おひぎ送りをお願いいたします。

駆け込み乗車禁止

駆け込み乗車は、ドアに挟まったり、他の人との接触事故など、自分だけではなく重大な加害事故に繋がる恐れがあります。

また、発車時刻になってもドアを閉められず、列車遅延の原因となります。

発車ブザーが鳴ったら、無理な乗車はせず、次の電車を利用しましょう。

4列整列（地下鉄）

乗車口に整列しないと列が長くなったり、ホーム上で歩く場所がなくなり、通行の支障となってしまいます。

ホームで地下鉄を待つ際は、入口付近を空けて、左右2列ずつ4列に並んで待ちましょう。

イヤホンからの音漏れ防止

イヤホンからの音漏れは、周りの人には大変不快な音となります。

自分では気付かない場合もありますが、遮音性の高いイヤホンの使用やボリュームをおさえましょう。

乗車中は手すりや吊り革につかまる

事故防止のため急停車する場合がありますので、お立ちの際は手すりや吊り革につかまりましょう。

女性と子どもの安心車両

南北線と東西線において、平日の始発から午前9時00分までの間、一部の車両を「女性と子どもの安心車両」として運行しております。

皆様が安心してご乗車いただけるようご協力をお願いいたします。

車内座席の利用について

地下鉄車内には「お年寄りや身体の不自由な方」「乳幼児をお連れの方」「妊娠されている方」「内部障がいをお持ちの方」「ヘルプマークを所持している方」を対象とした「専用席」がありますが、数に限りがあります。座席を必要としている方がいらっしゃいましたら、可能な範囲でお譲りいただきますようお願いいたします。

マスク着用及び会話の自粛

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、病気等の事情により着用が難しい方を除き、地下鉄ご利用の際には、マスクを着用していただきますようお願いいたします。

マスクはできるだけ不織布のものをお使いいただきますよう併せてお願いいたします。また、車内での会話は控えるようにしましょう。